

民間の植物検疫サービスの紹介 (登録検査機関制度の概要と事例紹介)

青果物輸出規制対応セミナー

2025年9月12日

大竹正彦・株式会社JEVIC

株式会社JEVIC



私たちは環境と安全を守る為に尽くします。

本社 : 横浜

国内事業所 : 名古屋、大阪、神戸、門司

グループ会社: NZ

設立 : 2001年9月20日

資本金 : 1千万円

代表取締役: 池田謙由

ホームページ:

<https://www.jevic.com>

当社は、中古自動車やコンテナ等の検査、および植物検疫をする検査会社です。

JEVICの事業

【自動車検査】

JEVICは、船積み前検査のスペシャリストとして、検査機関に対するISO最高基準(ISO/IEC認証)を取得し、世界中で最高品質のサービスを提供しています。

承認された検査機関

当社は、ニュージーランド第一次産業省(MPI)、オーストラリア農林水産(DAFF)の認定機関として各国の定める基準に適合した中古自動車の船積み前検査を行っています。輸入国における自然環境や、動植物の生態系保護に寄与しています

高品質な検査

走行距離計検査や車両性能検査を行うことにより、相手国の交通安全向上に役立つと共に、安全な街づくりに貢献しています。また、良質な車両を現地に提供しています。

【植物検査】

農林水産省 登録検査機関

当社は、農林水産省の「登録検査機関」※第1号として令和5年4月1日から輸出検査サービスを開始し、我が国の農産物の輸出促進に寄与しています。

※植物防疫法の改正に伴い農林水産大臣の登録を受けた「登録検査機関」が輸出植物等の検査の一部を行うことができるようになりました。

輸出検疫検査

・精密検査 ・目視検査 ・消毒検査 ・栽培地検査その他、植物検疫証明書の取得代行等、植物および中古農機の輸出支援サービス全般をご提供しています。

登録検査機関制度

■ 背景

- ・輸出植物の検査件数が急増し、植物防疫官のみでは対応困難
- ・輸入国の検疫要求が多様化・高度化
- ・国際植物防疫条約(IPPC)では民間機関による検査も許容されている

■ 制度導入の目的

- ・検査の迅速化と柔軟化
- ・民間事業者・研究機関の能力活用
- ・輸出促進に資する検査体制の整備

植物防疫所と登録検査機関の違い

	植物防疫所	登録検査機関
実施主体	国	民間
検査の内容	精密、目視、栽培地検査、消毒	登録区分に応じて
検査の場所	原則として植物防疫所、例外的に現地	現地(輸出者施設等)・事務所
検査を行う区域	全国を5区域に分け、5つの本所が地域を管轄している。	登録区域に応じて
植物検疫証明書の発行	発行出来る	発行出来ない (検査報告書を植物防疫所に提出し、植物防疫所より発行される)
検査手数料	無料	有料

植物検疫サービス事例(豊洲市場)

【実施概要】

開始日:2025年7月3日より 毎週月・木曜日

検査開始時間:8:30～

場所:東京シティ青果 フレッシュラボ

フォワーダー(輸送業者):日本通運

仕向け地:台湾

品目数:20品目、申請件数:6件

申請内容確定:7:30

検査内容:目視検査(30分～1時間)、線虫検査(ミキサー篩法、約1時間)

【実施までの経緯】

2022年:日本通運が検疫実施を検討、関係機関に相談

2023年:東京都より許可、横浜植物防疫所東京支所より制限あり

2024年:JEVICと連携、東京都、東京シティ青果、日本通運、JEVICの関係者で打合せ

2025年:7月3日より試験運用開始

【輸出者のメリット】

市場内で検疫を行うため、差し替えが容易

対象病害虫以外の問題も即時対応可能

植物検疫サービス事例(成田市場)

【検査の概要】

輸出照会： 当日の朝

検査開始時間： 13:00～(約1時間)

検査場所： 成田市場

仕向け地： 台湾

申請件数： 1件 検査品目数:1品目、

検査内容： 目視検査、線虫検査(ミキサー篩法)

【経緯】

輸出者様より急遽の輸出手配があり、フォワーダー担当者が植物防疫所成田支所に検査依頼を行ったものの、混雑のため当日の通関に間に合わないとの連絡を受けました。
これを受け、弊社に検査依頼が入りました。

好条件も重なり、検査手数料は発生しましたが、当日の夜には植物検疫証明書を取得することができ、輸出スケジュールに支障なく対応することができました。

【迅速な検査が実施できた理由】

- ・検査対象が1品目のみであったため、輸出照会后すぐに検疫条件が判明し、検査体制の構築が迅速に行えた。
- ・弊社検査員の柔軟な対応により、検査体制の調整が可能となり、移動用車両の確保も含めてスムーズな検査実施が実現した。

連絡先

お問合せ、ご質問はお気軽にどうぞ。

株式会社JEVIC 大竹正彦

Email: Masahiko.otake@jevic.com

携帯電話: 080-5508-4307